

「配慮の必要な子ども」とは インクルージョンの観点から考える保育

講師 廣澤 満之 氏

所属・職位：白梅学園大学 准教授

出身・学位：東北大学大学院 博士（教育学）

研究テーマ：発達障害児の発達支援
関わり手の熟達化

著書：

- 『特別支援教育に生きる心理アセスメントの基礎知識』東洋館出版 共著
- 『心理学理論と心理的支援』ミネルヴァ書房 共著 ほか



講演内容

幼児教育・保育の現場において保育者にとって、大きな課題の一つになっている事柄は、発達障害のある子どもや、いわゆる「配慮の必要な子ども」たちへの保育があげられています。こうした子どもたちに対して、従来の集団保育の方法は必ずしも有効ではありませんでした。

幼児教育においてもインクルージョン（障害の有無といった視点ではなく、多様な子どもたちの特性を踏まえた保育）の観点が求められています。子どもたちの多様性を理解し、すべての子どもたちが主体的に活動できる保育や、多様な子どもたちへの養育に困難を持つ親への支援を行うことが現場保育者には必要とされています。

今回のJWU幼児教育・保育セミナーでは、発達障害等の適切な理解と保育方法、親支援の方法について、インクルージョンの観点による保育実践に詳しい廣澤満之先生からお話を伺い、保育現場にヒントをいただく機会としたいと考えています。

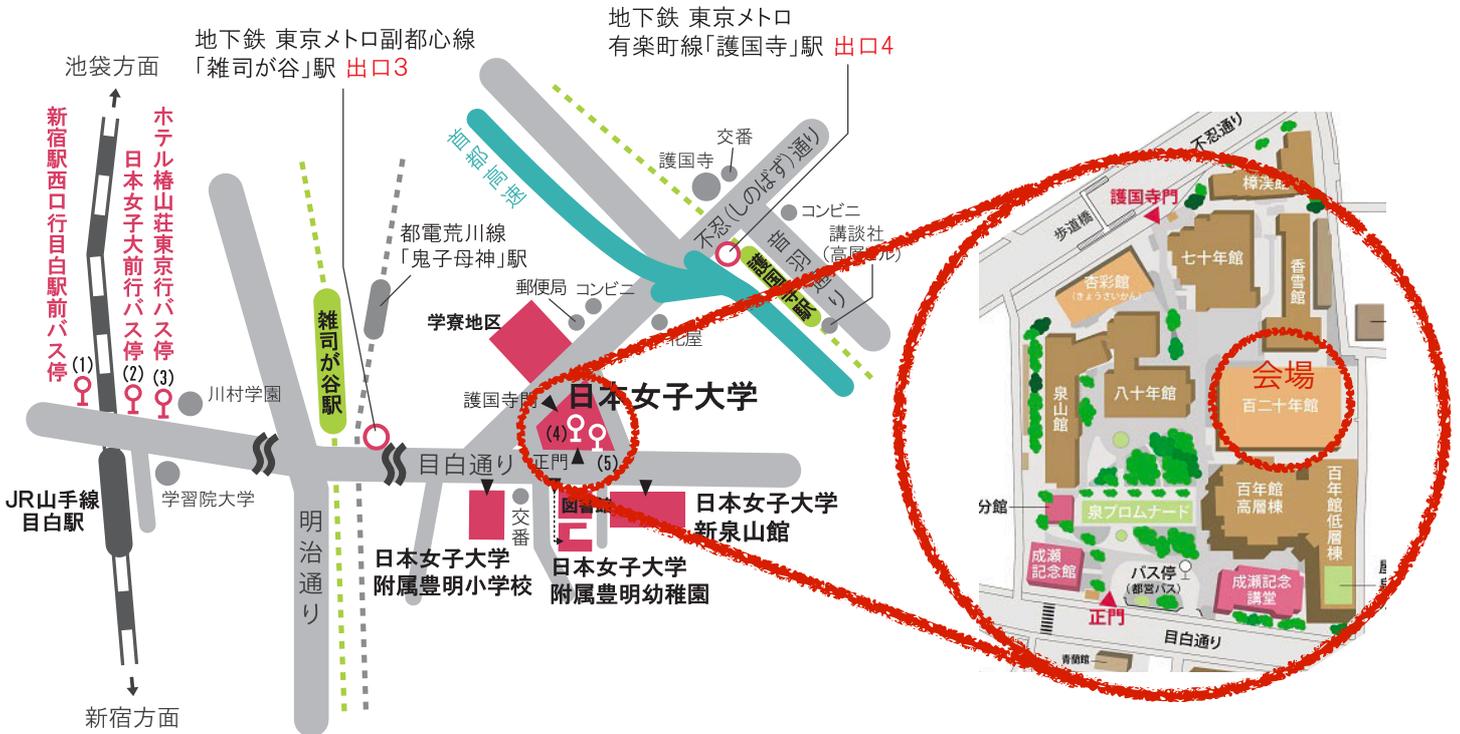
日付: **2023年10月28日（土）**

時間: **15時から17時**
(受付 14時30分開始)

会場: **日本女子大学 目白キャンパス
百二十年館 12001教室**

参加費: **無料**

「配慮の必要な子ども」とは インクルージョンの観点から考える保育



日本女子大学 (〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1)

JR山手線「目白」駅から 徒歩：約15分 バス：約5分

【都営バス (学05)】日本女子大学前行 (直行)

【都営バス (白61)】新宿駅西口行き、またはホテル椿山荘東京行き
いずれも下車「日本女子大前」バス停

東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅 (3番出口) から徒歩 約8分

東京メトロ有楽町線「護国寺」駅 (4番出口) から徒歩 約10分

アクセス

申し込み方法

メールの件名に、「10月28日講演会申し込み」、本文に①氏名、②所属 (園、施設名、学校名等)、③参加人数、④メールアドレスを書いて、10月23日 (月) までに下記へお申し込みください。

(一社) 日本女子大学教育文化振興桜楓会 公益事業部門 学術支援担当 gakujutsu@atlas.jwu.ac.jp

このQRコードを読み取るとアドレスが入力できます→



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY